

Press Release

2015年2月25日

トリナ・ソーラー 最新の高効率モジュール Honey Plus と Honey M Plus を発表

東京発 2015年2月25日 /PRNewswire/ -- 太陽光電池(「PV」)のモジュール、ソリューションおよびサービスにおいて世界の PV 業界をリードする Trina Solar Limited (NYSE: TSL) (「トリナ・ソーラー」または「当社」)は、公称最大出力 280W、セルの変換効率 18.7%の多結晶モジュール「Honey Plus (PC05A(II))」と公称最大出力 285W、セルの変換効率 20.4%の単結晶モジュール「Honey M Plus (DC05A (II))」という 2 種類の高効率モジュールを発表しました。

この 60 セルモジュール 2 製品は、太陽光が弱い状況でも優れた性能を発揮します。また、高い出力と効率を可能にする裏面パッシベーション (PERC: Passivated Emitter and Rear Cell) 技術を採用することにより発電効率が向上しました。

従来の Honey と Honey M モジュールから大きく進化した Honey Plus と Honey M Plus モジュールは、先進の 5 バスバー技術により、直列抵抗の低減、CTM (セル対モジュール) 効率の向上、そして高い信頼性を提供します。

トリナ・ソーラーのモジュールビジネス部門社長の朱治国 (Zhiguo Zhu) は次のようにコメントしています。「この新製品は、トリナ・ソーラーの高効率モジュールを商業ベースにするための絶え間ない努力の賜物であり、お客様にとっての付加価値を生み出すものです。」「トリナの多岐に渡る製品は、住宅、産業、そしてユティリティにおいてより優れたソリューションをお届けするために開発されています。弊社製品の性能は、トリナ・ソーラーの専門的な科学研究、厳格な品質管理、そして信頼性の高い品質試験から生まれたものです。最高の品質レベルの達成に対する強い決意により、トリナ・ソーラーは、競争が激しい PV 産業においても、最も要求の高い用途においても、トップの座につくことができているのです。」

この2つのモジュールは 2016 年の世界での展開に先駆けて 2015 年上半期に日本を含む数カ国において発売される予定です。

■ **Trina Solar Limited (トリナ・ソーラー)**

トリナ・ソーラー (NYSE 証券取引所: TSL) は、太陽電池モジュールおよび太陽光発電システムインテグレーションのグローバルリーダーです。1997 年に太陽光システムインテグレーターとして設立以来、トリナ・ソーラーは、世界中の施工、販売、ディベロッパーなどのパートナーの皆様と共に、“Smart Energy Together” (「みんなでスマートエネルギー」) を推進しています。優れた革新性、高品質、垂直統合による一貫生産体制、環境責任を軸に、トリナ・ソーラーはより良い社会づくりに取り組んでいます。詳しくは、<http://www.trinasolar.com> をご覧ください。